

栄養やまなし No. 106

公益社団法人山梨県栄養士会 〒400-0805 甲府市酒折一丁目1-11 ☎055-222-8593 平成30年1月



1～5月の行事予定

特定保健指導従事者および特定保健指導に関心のある方のための研修会

1月27日(土)山梨学院短期大学51号館103

在宅医療チームによる訪問栄養食事指導第2回研修会

2月3日(土)昭和町総合会館

生涯教育研修会

2月17日(土)山梨学院短期大学

栄養学術研究会

2月24日(土)ぴゅあ総合

新潟県における在宅訪問栄養食事指導実施状況の講演

3月17日(土)ぴゅあ総合

目

次

新年のご挨拶

会長 田草川憲男 2

これからの研修会等の予定

・平成29年度在宅医療チームによる
訪問栄養食事指導研修会 3

・生涯教育研修会(平成29年度 第8回) 3

・平成29年度 栄養学術研究会 3

・特定保健指導従事者および
特定保健指導に関心のある方のための研修会 3

・第32回管理栄養士国家試験 3

・栄養学術研究会発表要旨 4

日本栄養士会会長表彰受賞おめでとうございます 6

お知らせ

・栄養士のWEBサービスを利用しましょう 7

・平成29年写真で見る山梨県栄養士会の主な活動 8

各種事業・研修会等実施のようす

・歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施 10

・食生活と植物油栄養に関する講習会を開催 10

・日本栄養改善学会関東甲信越支部市民公開講座を開催 11

・在宅医療チームによる訪問栄養食事指導検討会及び研修会の開催 11

・いきいき山梨ねんりんピックでの栄養相談の取り組み 11

・インスタントラーメン「健康と栄養」セミナーを開催 11

・県民の日記念行事での栄養相談の取り組み 12

・県栄養管理研修会を実施いたしました 12

・第34回県民歯科保健のつどいに参加しました 12

・出前栄養相談事業 12

厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます 13

山梨県知事表彰受賞おめでとうございます 14

「会員の声」 15

職域事業部のコーナー

学校健康教育事業部 17

公衆衛生事業部 17

研究教育事業部 17

勤労者支援事業部 18

地域活動事業部 18

医療事業部 18

福祉事業部 19

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

・公益社団法人 山梨県栄養士会役員一同 23

・公益社団法人 山梨県栄養士会賛助会員 24

事務局からのご案内 26



新年のご挨拶

今 栄養士会が特に取り組んでいること
～在宅療養者の訪問栄養食事指導と市町村「地域ケア会議」への参画～

公益社団法人 山梨県栄養士会会長 田草川 憲男

山梨県は、75 歳以上の女性の 29.1 % が低栄養（やせ）傾向（BMI20 以下 平成 26 年度県民栄養調査結果）であります。低栄養は、易感染性を高めるなど健康栄養状態に悪影響をおよぼすため、要介護高齢者が適切な栄養摂取が行えるよう栄養食事支援が必要です。^{（1）}

在宅介護での毎回の食事作りはかなりの気を遣うものです。糖尿病や腎臓病などの病気のある方、嚥んだり飲み込んだりすることが難しくなっている方、認知症による食事の拒否や食べ過ぎてしまうなどいろいろな状況に対し、原因や本人の意向などから栄養や食事の面について、一人ひとりに合わせたアドバイスやサポートを行うのが、訪問栄養食事指導です。

フレイル予防や筋力の維持には運動が有効ですが、その前提としてエネルギーやたんぱく質などがとれてないと筋肉を減らしてしまうことがあります。

在宅高齢者においては、「食事」や「食べる」ことをとおして、健やかな在宅生活を支援する必要があります。生活習慣病や栄養管理の必要な疾患においては、エネルギーやたんぱく質、脂質、食塩等の摂取量調整、摂食・嚥下障害においては、入れ歯調整等口腔状態を整え、個別の嚥下状態に応じた食形態の調整等の適切な栄養管理が必要です。特に高齢者では複数の疾患を持つ方も少なくありません。

そのため、在宅高齢者のうち、低栄養や栄養食事支援の必要な生活習慣病罹患者（糖尿病・腎臓病・高血圧・肝臓病・がん等）及び摂食・嚥下障害を持つ対象者や家族などに対して、科学的根拠に基づいた最新の知識の基に適切な栄養食事指導が求められております。

また、対象者や家族・支援者への病態栄養等の知識及び食べやすくする調理技術向上へのサポートも、対象への病態の改善・回復につながります。

「在宅療養者の訪問栄養食事指導の実態とその課題（第 2 報）」^{（2）}によると、在宅療養者での食や栄養の問題を抱えているという回答は在宅療養者または介護者で 58 %、在宅療養に関わるスタッフで 81 % と高い数値でありました。在宅療養者が認識している食・栄養の問題点は、「献立に困っている」、「やせている」、「かみにくい・飲み込みにくい」、「減塩調理や治療食の方法がわからない」等でありました。一方、医療・介護スタッフが認識している食・栄養の問題点は、「嚥下障害」、「便秘・下痢」、「肥満」、「疾患ごとの食事管理」であり、両者ともに同様の問題が挙げられていました。

「ケアマネジメントにおける訪問栄養食事指導の現状および問題点―栄養ケア・ステーションの今後の展開―」^{（3）}のケアマネジャー対象の調査において、ケアプランに挙がる食事や栄養の課題として「嚥下障害」「食事摂取量の低下」「治療食の調理」「褥瘡・低栄養」がありました。また、利用者の食事や栄養の課題を解決する上で必要なこととして、「栄養ケアに関する情報源」、「管理栄養士の所在の明確化」、「在宅に訪問する管理栄養士の増加」が挙げられており、管理栄養士が在宅医療へ積極的に関わる必要があるとされています。

そこで、食事管理が必要な在宅療養者に対し、適切な栄養量を確保するために、多職種間で情報を共有し、対象者の栄養状態や生活状況の多様性に配慮して在宅医療チームで望ましい支援を行う必要があります。

本会は今後も、市町村における高齢者の多職種の協働による個別ケース（困難事例等）の支援を行う「地域ケア会議」への管理栄養士の参画について働きかけを進めます。

応募：キーワード「地域ケア会議」と書いて、平成 30 年 1 月 31 日（水）までに事務局にメールでお寄せ下さい。抽選で平成 30 年度総会時に記念品を贈呈します。

- （1）日本老年学会雑誌 47 巻 4 号（2010.7）名古屋大学医学部付属病院 平川仁庄ら
- （2）武庫川大学紀要（自然科学）為房恭子ら
- （3）日本栄養士会雑誌第 53 巻第 7 号 2010 年 全国訪問栄養食事指導研究会 前田佳予子ら

これからの研修会等の予定

平成29年度在宅医療チームによる訪問栄養食事指導研修会 第2回

と き 平成30年2月3日（土）
10：00～15：00
ところ 昭和町総合会館
内 容
調理実習
「トロミ剤の基本・年度調整及び家庭にあるものを利用した、摂食・嚥下障害者に適した食形態」グループワーク
「在宅での支援経験事例を通して」
講師 P E A C H 厚木
代表 江頭 文江 先生

第3回
と き 平成30年3月17日（土）
13：00～
ところ ぴゅあ総合
内 容
講演「在宅栄養管理のチームの多職種連携の実践について」
講師 在宅栄養管理チーム医療を実施している新潟県の関係者（予定）

生涯教育研修会（平成29年度 第8回目）

と き 平成30年2月17日（土）
10：00～15：40
ところ 山梨学院短期大学51号館
内 容
講演 10：00～11：30
12：30～14：00
演題 入院患者における栄養スクリーニングから、栄養管理計画書の書き方まで
講師 公益財団法人脳血管研究所美原病院
栄養科長 渡邊 美鈴 先生
講演 14：10～15：40
演題 非経口栄養補給法
～胃瘻、経腸、経静脈等の栄養補給法～
講師 北杜市立甲陽病院
副院長 中瀬 一 先生

特定保健指導従事者および特定保健指導に関心のある方のための研修会

と き 平成30年1月27日（土）
13：30～16：00
ところ 山梨学院短期大学51号館103
内 容
1. 昨年度の特定保健指導の実施状況
2. 「困難事例を、私はこのように対応した」
3. 特定保健指導を実施するに当たっての、注意事項
4. 質疑応答・意見交換会

平成29年度山梨県栄養士会栄養学術研究会

と き 平成30年2月24日（土）
13：00～16：30
ところ ぴゅあ総合 大研修室
内 容
13：15～14：45
口頭発表 各事業部より7題
座長 山梨学院大学健康栄養学部
教授 藤井 まさ子
15：00～16：30
示説（ポスター）発表10題
（示説見学は12：30～）
座長 A 山梨学院短期大学
教 授 中川 裕子
座長 B 山梨大学健康栄養学部
准教授 古閑 美奈子



第32回管理栄養士国家試験

試 験 日 平成30年3月4日（日）
願書受付日 平成29年12月8日（金）
～12月15日（金）

厚生労働省より、受験要領・願書が山梨県栄養士会事務局に届いています。必要の方は、郵送料として切手205円を同封して山梨県栄養士会に申込んで下さい。希望者に郵送いたします。

平成29年度 山梨県栄養学術研究会（口頭発表）

日 時 平成 30 年 2 月 24 日（土）
13 時 00 分～ 16 時 30 分
会 場 びゅあ総合大研修室

学校健康教育学部 センター方式の学校給食における 食育の実践について

上野原西中学校 栄養教諭 大神田志保

上野原市にある四方津学校給食共同調理場は、今年度、小学校 4 校、中学校 3 校の学校給食を作り配送している。今年度より栄養教諭（上野原西中学校所属）が配属され、配送校 7 校の食育を担っている。単独方式の調理場とは違い、調理場の様子が学校にいる子どもや教職員に伝わりにくい。栄養教諭が調理場と学校の架け橋となり、子どもたちに調理場の様子や調理員の苦労、思いを伝え、感謝の心などを育むような実践をしている。さらに、保護者対象の試食会や食育授業に参画し、家庭を巻き込んだ食育の実践について報告する。

公衆衛生事業部 高校生の食生活に関する調査研究

中北保健福祉事務所峡北支所 向山由貴子

H28 年度から実施している高校生への食育活動について、保健所として今後どのように展開させていくか検討するため、H29 年度に行った出前授業の事前調査、事後アンケートの結果、出前授業の様子について考察を行った。食生活の課題は個人差があるものの、高校生の時期に自身の食生活について振り返ることの必要性が示唆された。

研究教育事業部 山梨県栄養士会ウェブサイトの改定にあたって ―他県ウェブサイトの特徴分析及び AB テストの実施―

山梨学院短期大学 青木 慎悟

目的：他県栄養士会ウェブサイトを参考に、本県栄養士会ウェブサイトの改定を行うこと。
方法：各都道府県の栄養士会ウェブサイトについて、評価ツール nibbler を用いて特徴の分析を行った。新規デザインを考案後、大学生・教職員、山梨県栄養士会会員を対象に、新規デザインと現状との AB テストを実施した。結果：改定前の段階で、本県ウェブサイトはアクセシビリティの評点が高い傾向にあった（全国で 3 位）。AB テストの結果、いずれの対象者でも新規デザインの方が好ましいという意見が多く得られた。
結論：今後はデザインに加えてアクセシビリティにも更なる配慮をしながら、平成 30 年 4 月の公開を目標に、作業を継続していく。

レスベラトロールによる マウス末梢白血球の酸化ストレス低減効果 ○針谷夏代¹⁾、井上拓哉²⁾、望月和樹³⁾

1) 山梨学院大学 健康栄養学部 管理栄養学科
2) 山梨大学大学院 医学工学総合教育部 生命工学専攻
3) 山梨大学 生命環境学部 地域食物科学科

目的：高脂肪食誘導性の軽度インスリン抵抗性マウスにレスベラトロールを長期投与し、末梢白血球の活性酸素除去酵素の発現に及ぼす影響を検討した。
方法：5 週齢、雄性の C57BL/6Ncr マウスに AIN93M をベースにした脂肪エネルギー比率 62 % の飼料を 31 週間自由摂取させ、末梢白血球の活性酸素除去酵素（Prdx、Txnrd）の遺伝子発現および動脈硬化リスク因子（sE-selectin、tPAI-1）の血中濃度を測定した。結果および考察：レスベラトロールは活性酸素除去酵素の発現を有意に低下させ、末梢白血球の酸化ストレスを低減した。しかしながら動脈硬化リスク因子の変動には影響を与えなかった。

地域活動事業部 外来栄養食事指導の実施評価 ～糖尿病患者の HbA1c から見る栄養指導の現状と課題～

地域活動事業部 芦沢 恵介

診療所での外来栄養食事指導が実施されて 1 年が経過しようとしている。日々の栄養指導業務が患者様にとって有効なものであったかの評価を行う事とした。評価として、糖尿病患者さまの HbA1c の数値経過を見ることで、栄養指導からどのように変化していたかを評価した。その結果から、栄養指導の現状と今後の栄養指導の課題を出す事とした。

医療事業部 当院の NST 介入患者の傾向および 介入状況と今後の課題

山梨県立中央病院 栄養管理科 浅川 美咲

【目的】NST が介入した患者の傾向および介入状況等を検討し、現状の把握と今後の課題を見出すことを目的とする。【方法】平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月に NST が介入した患者について調査した。【結果】介入患者数は 96 名、平均年齢は 66.8 ± 25.8 歳。入院日数は 91.0 ± 80.0 日で長期入院の傾向があった。介入までの平均日数は 48.6 日。平均回診回数は 1.5 回/人。介入時血清 Alb 値は 2.5 ± 0.9 g/dl。回診 2 回以上の患者の 61 % で血清 Alb 値に改善がみられた。終了時 Alb 値が 3.0 g/dl まで改善した患者の割合は回診 2 回の患者で 13 %、3 回以上の患者で 24 % と回診回数により差を認めた。【考察】より早期に介入するための方法を検討し、介入終了の基準についても見直す必要があると考えられる。

福祉事業部 料理教室の取り組みについて

特別養護老人ホーム芙蓉荘 遠山 美紀

以前は介護員中心に計画・実施していた料理教室も、日々の業務に追われ頻度が少なくなっています。そこで、栄養士が中心となり料理教室を行ったことのないユニットを対象としておやつ作りや昼食作りに取り組みました。普段は出来上がったものを喫食している中で、目の前で調理をして五感で楽しんでもらうことを目的に、数回ではありますが取り組み内容について発表させて頂きます。

平成29年度 山梨県栄養学術研究会（示説発表）

学校健康教育学部 特別支援学校における減塩対策の取り組みから

ふじざくら支援学校 千頭和 功

学校給食は児童の生涯の味覚や食習慣が大きく影響される重要な時期であり、食育をはじめさまざまな取り組みがなされている。減塩については継続的に取り組んでいくテーマであるが、今回は給食施設で実際に提供された汁物を塩分計による塩分濃度の実測を行い、塩分量の推定をおこなったところばらつきがあった例があった。そこで、実施されている献立の塩分量と、塩分計を用いて実測された実際の提供量の誤差などに注目して、調理現場と連携して適正な塩分量の献立が実施できるような取り組みを行ったので報告する。

公衆衛生事業部 峡南地域における他職種連携の取り組みについて ～峡南地域生活習慣病対策会議～

富樫直美¹⁾、山田有希子²⁾、山下ますみ³⁾、矢野志織⁴⁾
1) 市川三郷町役場 2) 身延町役場 3) 峡南保健福祉事務所 4) 南部町役場

平成 24 年度より峡南 5 町・保健所の成人担当保健師より「峡南地域生活習慣病対策担当者会議」が発足。健診データを分析し、峡南地域全体で H b A 1 c の値が高い人が多いという結果が示された。その中で糖尿病対策を「食生活」を中心にアプローチしたいという保健師からの提案があり、平成 28 年度より栄養士・管理栄養士が会議に加わった。

地域活動事業部 平成29年度 出前栄養相談事業の報告、 ならびにアンケート集計と分析結果

地域活動事業部 赤澤 明美、志村 美幸

毎年、地域活動事業部では食育事業として、児童館において児童または乳幼児とその保護者に対して出前栄養相談を実施している。
今年度は、昨年に引き続き「なんでも食べる子、元気な子」をテーマに 8 市町村 43 回の開催となった。また、『塩山式手ばかり』と『子どもの頃からの減塩』の内容に関して、前年度の反省を踏まえて媒体の作成や配布資料の統一化をし、担当する部会員には事前研修を行った。対象者への朝食に関する調査、教室後の理解度などのアンケート集計結果を発表する。

医療事業部 当院の N S T 介入患者の特徴

山梨リハビリテーション病院栄養課 細井 洋子

当院は全病棟回復期リハビリテーション病棟の病院で、2014 年 12 月 NST 委員会を立ち上げ、多職種で患者の栄養状態改善に取り組んでいる。当院の NST 介入基準は、BMI15 未満・1 ヶ月体重減少率 5 % 以上・Alb 3 g/dl 未満・Hb 8 g/dl 未満・リンパ球数 800/mm³ 未満の 5 項目である。入院時においては、体重減少率を除く 4 項目で NST 介入の有無を判断している。2016 年 4 月から 2017 年 3 月の 1 年間に入院した患者 660 名のうち、入院時から介入した患者は 94 名であった。データが不十分な 10 名を除いた 84 名のうち、退院までに栄養状態が改善した患者は 46 名（54.8 %）、改善しなかった患者は 38 名（45.2 %）であった。今回、入院時から NST 介入を行った患者の栄養状態改善の有無について、介入基準の 4 項目 疾患別で比較検討したので報告する。

福祉事業部 保育所の乳幼児の食育に対する 保護者の興味・関心、実践の実態 石和第三保育所 飯田 旭平

乳幼児の食育は咀嚼機能の獲得や食習慣に形成において重要な時期である。各家庭に乳幼児の食育に対する興味・関心、実践の実態の調査を行うことにした。保育園の保護者を対象にアンケート調査を行い集計した。食事に興味を持たせることを意識している家庭は 56 % であった。食育に関心がある家庭の割合は半数で、子供の年齢の違いによる差はなく、どの年齢においても 50 % 前後と考えさせられる数値であった。今後は、乳幼児期の食育の重要性を改めて周知し食育に対する興味・関心のある家庭を増やしていく。また、どのような食育が家庭で取り組みやすいのかを検討していく必要がある。

研究教育事業部 茶事にあう山梨の水

山梨学院短期大学 鈴木 耕太

茶道には水の良し悪しが大きく関与する。水のまま飲んで美味しいからと言って、茶事に最適な水とは限らない。
硬水よりも軟水の方が茶事には適していると言われるが、実際にはどうであろうか？県内の異なる水で抹茶をたて、パネラーに試飲してもらう。官能評価を行い専門家によるパネル数 15 名による評価を行う。加えて嗜好型官能評価を行いパネル数 80 名によるスケール法で香りのよさ、うま味の強さ、味のボディー、総合的な美味しさについて評価する。嗜好型官能評価の結果においては統計的に分析を行い、山梨のおいしい水を発信する。

平成29年度 山梨県栄養学術研究会（示説発表発表）

食品衛生管理における手洗い操作の検討（第2報）

山梨学院短期大学 関戸 元恵

食品衛生管理に基づいた正しい手洗いと殺菌方法のあり方を殺菌消毒剤の種類や使用量について検討し、殺菌消毒剤の使用量3.2mLで殺菌効果の高い知見が得られた。そこで、手洗い後に有効性がみられた殺菌消毒剤を用い、性別差による手指の体積量が殺菌消毒剤の使用量に及ぼす影響、接触平板試験による一般生菌数(コロニー数)、ATPふき取り試験によるRLU値を検討した。アルコール製剤3.2mLの噴霧、0.1%逆性石けん液への30秒浸漬で有意な一般生菌数の減少がみられた。男女の手指体積量に有意な差(p<0.001)はみられたが、アルコール製剤3.2mLの噴霧で男女ともに一般生菌数は有意に減少し、性別差による除菌率に有意差はみられなかった。

山梨県民の食塩摂取に関する研究（第1報） —その他の調味量の内訳、

料理別の調味量からの食塩摂取量、 料理別摂取頻度と食塩摂取量の関係について—

河野美咲、佐久間香穂、古閑美奈子、藤井まさ子

要旨：山梨県民の食塩の摂取源をみると、しょうゆ、塩、味噌、その他の調味料が約6割を占める。本研究では、調味料からの食塩摂取について検討することを目的にした。その他の調味料の内訳を昨年度より詳細に分析したところ、顆粒風味調味料、ルウ、めんつゆの順に摂取が多いことが明らかになった。調味料の摂取量を料理別にみると、「汁物」「料理にかける・つける」「麺類」からの摂取が多いことが分かり、その中で「汁物」「料理にかける・つける」は年代が上がるとともに摂取頻度も多くなった。

山梨県民の食塩摂取に関する研究（第2報） —汁物の摂取頻度・具材と食塩摂取量の関係—

梶原奈津実、中仙道葉月、古閑美奈子、藤井まさ子

要旨：山梨県は食塩摂取量が多いことが知られているが、その中でも汁物からの食塩摂取が多い。本研究では山梨県民の食塩摂取量が高い理由を明らかにするために、汁物に焦点を当て、汁物の摂取回数及び汁物の具材重量と食塩摂取量との関連性を明らかにした。汁物の摂取回数が多いほど1日の食塩摂取量も多いという関連が見られた。具材重量が多い群は少ない群に比べ食塩摂取量が多かった。汁物1回あたりの野菜重量と食塩摂取量の間には、関連性が見られなかった。

山梨県民の食塩摂取に関する研究（第3報） —朝食におけるパン摂取の有無、副食の品数・種類と食塩摂取量の関係—

西ヶ谷日向子、村松絹恵、古閑美奈子、藤井まさ子

要旨：朝食においてパン派に比べごはん派は、食塩摂取量が多いという報告がある。本研究でも、朝食においてパンを摂取した者は朝食の食塩摂取量が少なかったが、パンを摂取していない者に比べ副食の品数が少ないことが影響していることが明らかになった。しかし、パンの摂取の有無にかかわらず、1日の食塩摂取量では有意な差は見られなかった。パンを摂取した者は調味料からの食塩摂取量は少ないものの、パンからの食塩摂取量があるため、有意な差がみられなかった。

日本栄養士会会長表彰おめでとうございます

佐藤 悦子	北杜市役所
向山 奈生	竜王町社会福祉協議会
樋口 陽子	社会保険山梨病院
望月 理恵	社会福祉法人 高田保育園
窪寺ゆかり	あけぼの医療福祉センター
櫻井良志美	社会保険山梨病院
羽中田 睦	県立わかば支援学校
外川 泉	富士吉田市役所
(顕彰資格：会員歴 25 年以上、40 歳以上)	

平成30年度の栄養士会費を3月31日までにご納入ください。

お知らせ

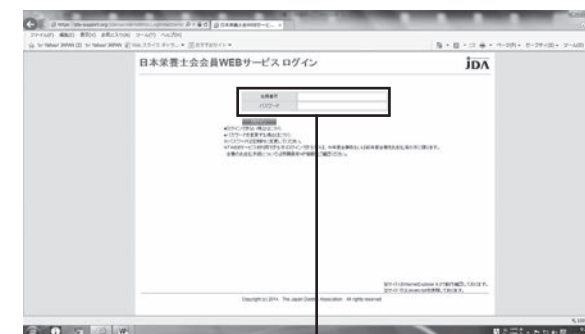
栄養士会のWEBサービスを利用しましょう！！

1. WEBサービスを利用するためのIDとパスワードはご存じですか？
不明の会員様は山梨県栄養士会事務局にお尋ねください。
2. WEBサービスで何が出来るの？
(1) 住所や氏名、資格等、自身の勤務先等個人情報に変更があった時、ご自身でデータを更新出来ます。
(2) 山梨県だけでなく、各都道府県栄養士会が開催する研修会に手軽に申込みが出来ます。
☆さあ、山梨県栄養士会ホームページにアクセスしてみましょう！！
☆スマホ版でも利用できます！！

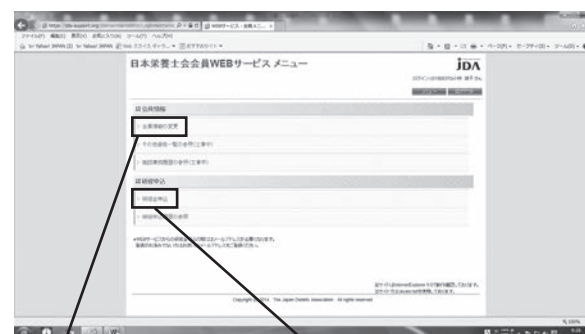
※勤務先が未登録の方が多く見られますので「Webサービス」を確認の上、現在の勤務先を登録して下さい！！



① トップページ右の「日本栄養士会のWebサービスはこちら」をクリック！！



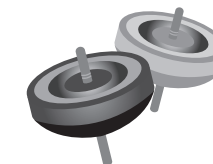
② 「会員番号」と「パスワード」を入力！！



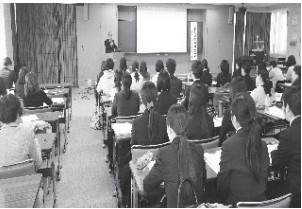
③ 「会員情報の変更」をクリックし、変更する情報を入力更新して下さい。

④ 「研修会申込」をクリックすると栄養士会で開催される研修会の申込が出来ます。

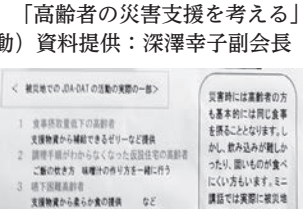
※パスワードは平成27年「日本栄養士会雑誌」7月号に同封され送付されておりますが、紛失された方はパスワードを再発行いたしますので、山梨県栄養士会事務局までご連絡下さい。



平成 29 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動（H 29.1.1 ～ 12.3）

H29.2.26 栄養学術研究会 口頭発表 7 題		ポスター発表 11 題	
			
1.22 在宅訪問栄養食事指導研修会「摂食嚥下困難者・・・」	4.12 甲府市医師会主催多職種連携	5.15 県看護協会主催在宅医療検討会	
			
5.20 理事会 ひゅあ総合	6.4 ～歯と口の健康週間 県内保健所単位支部において実施		
			
6.17 ～ 生涯教育研修会 基本研修（必修）・実務研修 受講申込者 125 名			
			
6.24 定時総会 山梨学院短期大学 給食関係商品等展示・情報交換会・講演会「災害時の栄養管理」国立栄養研究所 笠岡（坪山）宣代室長			
			
			
8.4 栄養の日 各職域事業部での PR FM 甲府で PR	学生への説明		プレゼントの品物
			

平成 29 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動（H 29.1.1 ～ 12.3）

8.4 日本栄養学会関東甲信越支部市民公開講座 “スポーツ栄養”	8.24 ～関東甲信越ブロック会議	9.30 ねりんピック
		
9.27 甲府市医師会在宅医療推進協議会 認知症在宅多職種の会	9.22 在宅医療チームによる 訪問栄養食事指導検討会	10.12 在宅訪問栄養食事指導研修会 山梨市立牧丘病院 古屋聡医師 「訪問診療から栄養士との連携を考える」
		
10.15 認知症啓発ウォークラリー（金川の森）	10.21 インスタントラーメン「健康と栄養」セミナー	
		
11.11 栄養管理研修会 神奈川県立保健福祉大学 中村丁次学長「栄養管理（ケア）プロセスの意義」他「栄養ケアプロセスの活用」		
		
11.26 県民歯科保健のつどい	11.26 県民の日	
		
10.7 富士河口湖町医療介護の集い 「高齢者の災害支援を考える」で掲示と講演、(JDA-DAT の活動) 資料提供：深澤幸子副会長	12.3 健やか山梨 21 推進大会	9.29 栄養やまなし編集委員会
		

各種事業・研修会等実施のようす

歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施

各支部での取り組み	協力者
・中北支部	・食育ぬりえ
と き 平成 29 年 6 月 4 日（日）	古屋 宏美（地域）・青木 雅子（公衆）・
ところ 甲府市総合市民会館	手塚千奈美（医療）・村松 郁（福祉）・小
イオンモール甲府昭和 計 2 カ所	尾沙緒里（福祉）
内 容	
・食事診断ソフトを用いた食事相談	
・簡単貧血度チェック	
・よく噛むことの重要性和噛み応えのある食べ物の紹介	
・体組成計および料理カードを用いた食事相談	
秋山 知子（学校）・小林 茜（公衆）	
村松 香侑（公衆）・牧野 美咲（研究）	
青木 慎悟（研究）・伊藤 貴子（勤労）	
芦沢 恵介（地域）・玉川真奈美（地域）	
溝口知佳（医療）・大柴美里（医療）保坂麻衣（医療）・齊藤寛子（医療）鰻池春菜（医療）・市川菜美（医療）渡辺 慧（医療）・小島千枝（医療）佐野智子（医療）・望月直哉（福祉）清水章江（福祉）・入倉朗子（福祉）	
山梨学院大学健康栄養学部学生 10 名	



・峡北支部	協力者
と き 平成 29 年 6 月 4 日（日）	
ところ 韮崎市民交流センター ニコリ	
内 容	
・飲み物に含まれる砂糖量との比較展示	
・幼児の1日の食事見本（フードモデル）展示	
・お菓子と同エネルギー量のおにぎりとの比較展示	
・歯に良いおやつレシピや試供品の配布	
・「カルシウムを摂ろう」ポスター掲示	
佐藤悦子（公衆）、堀内真理子（公衆）、堀込かずみ（医療）、藤井匡明（福祉）	



・峡東支部	
と き 平成 29 年 6 月 3 日（土）	
ところ いちやまmart塩山店	
アピタ石和店 計 2 カ所	
内 容	
・栄養相談	
・クイズ	

協力者	・食育ぬりえ
	古屋 宏美（地域）・青木 雅子（公衆）・
	手塚千奈美（医療）・村松 郁（福祉）・小
	尾沙緒里（福祉）



・峡南支部	協力者
と き 平成 29 年 6 月 3 日（土）	
ところ 道の駅 富士川	
内 容	
・ぬりえ（歯みがき啓発用）	
・箸でいろんな大きさの豆をつまんでみよう！（えんどう豆、曙大豆、黒大豆、金時豆）	
・歯と口に関するクイズ	
・歯と口の健康啓発冊子	
・レシピ、雑穀配布	
青沼真琴（医療）・田中典子（福祉）・柿島穂津美（福祉）	



・富士・東部支部	協力者
と き 平成 29 年 6 月 3 日（土）	
ところ Q - S T A	
内 容	
・栄養相談	
・要介護者への食事内容の指導	
・サンプルの配布	
土屋加織（医療）	

食生活と植物油栄養に関する講習会を開催

と き 平成 29 年 7 月 8 日（土）	
ところ ぴゅあ総合 大研修室	
内 容	
講演 1 「知っておきたい植物油の基礎知識」	
講師 日本植物油協会	
理事 水野 毅 先生	
講演 2 「個人対応の栄養学賢い油脂の取り方を考える」	
講師 聖徳大学栄養学部人間栄養学科	
教授 池本真二 先生	



日本栄養改善学会関東甲信越支部市民公開講座を開催

と き 平成 29 年 8 月 5 日（土）	
ところ 山梨学院短期大学サザンタワー	
内 容	
講演 1 「スポーツ栄養学の最近の話題」	
講師 東京大学大学院総合文化研究科	
准教授 寺田 新 先生	
講演 2 「ジュニア・トップアスリートに対する栄養サポート」	
講師 高崎健康福祉大学健康栄養学科	
教授 木村典代 先生	



在宅医療チームによる訪問栄養食事指導検討会及び研修会の開催

1. 検討会	
第 1 回	
と き 平成 29 年 9 月 22 日（金）	
ところ ぴゅあ総合 2 階会議室	
内 容	
（1）検討会の目的	
（2）各専門職における在宅高齢者の栄養管理の実態、課題、関わり方について	
参加者	
篠原文雄先生（医師）・花形哲夫先生（歯科医師）・鷺見よしみ（介護支援専門員）・小池吉美（看護師）・伊藤由美香（歯科衛生士）・和泉裕二（言語聴覚士）・田草川憲男・深澤幸子・平井美樹夫・小林貴子・守屋喜久代他	
栄養士会理事	



第 2 回（予定）	
と き 平成 30 年 2 月 8 日（木）	
ところ ぴゅあ総合 2 階会議室	
内 容	
今後の連携方法、必要なスキルについて	
参加者	
篠原文雄先生（医師）・花形哲夫先生（歯科医師）・鷺見よしみ（介護支援専門員）・小池吉美（看護師）・伊藤由美香（歯科衛生士）・和泉裕二（言語聴覚士）・田草川憲男・深澤幸子・平井美樹夫・小林貴子・守屋喜久代他	
栄養士会理事	

2. 研修会

第 1 回	
と き 平成 29 年 10 月 12 日（木）	
ところ ぴゅあ総合 2 階大研修室	
内 容	
講演 「山梨県の病院の在宅訪問から栄養士との連携を考える」	

講師 牧丘病院院長 古屋聡 先生	
第 2 回（予定）	
と き 平成 30 年 2 月 3 日（土）	
ところ 昭和町総合会館	
内 容	
1）調理実習	
「トロミ剤の基本・粘度調整及び家庭にあるものを利用した摂食・嚥下障害者に適した食形態」	
2）グループワーク	
「在宅での支援経験事例を通して」	
講師 PEACH 厚木	
代表 江頭文江 先生	
第 3 回（予定）	
と き 3 月 17 日（土）	
ところ ぴゅあ総合 2 階大研修室	
内 容	
講演 「新潟県における在宅訪問栄養食事指導の実施状況」	
講師 管理栄養士 牧野令子 先生	

いきいき山梨ねりんピックでの栄養相談の取り組み

と き 平成 29 年 9 月 30 日（土）	
ところ 小瀬スポーツ公園	
内 容	
「健やか山梨 21 ★国保いきいき広場ブーステント」における栄養相談業務	
協力者	
田草川憲男（会長）	
山本 聖子（事務局長）	
赤澤明美（地域）・飯沼一美（医療）	
渡辺紀子（福祉）・黒澤東江（福祉）	

インスタントラーメン「健康と栄養」セミナーを開催

と き 平成 29 年 10 月 21 日（土）	
ところ 山梨学院短期大学 51 号館調理室	
山梨学院短期大学サザンタワー	
内 容	
調理実習	
「成長期の子供向け、カルシウムたっぷり食材を取り入れたメニュー」	
講師 山梨学院短期大学	
教授 根津美智子 先生	
山梨学院短期大学	
助手 牧野美咲 先生	
講演 「アウトドアライフと食生活」	
講師 医学博士・登山家	
今井通子 先生	
協力者	
田草川憲男（会長）	
深澤幸子（副会長）・平井美樹夫（副会長）・	
秋山知子（常務理事）・黒瀬百合（学校）・向山由紀子（公衆）・福井 智（研究）・小林貴子（医療）・天野江津子（勤労者）・玉川真奈美（地域）・長田文江（地域）・芦沢恵介（地域）・村松由佳（福祉）・山本聖子（事務局長）・小林綾子（事務局長）	



県民の日記念行事での栄養相談の取り組み

と き	平成 29 年 11 月 18 日（土）
と ころ	小瀬スポーツ公園
内 容	1. 料理カードによる塩分量クイズでの減塩支援 2. 料理カードによる食事診断と、診断に基づく食事バランスガイドによる食生活相談
協力者	田草川憲男（会長）・秋山知子（常務理事）・山田智子（学校）・藤原由紀子（公衆）・小池あゆみ（公衆）・渡辺紗椰香（研究）・赤澤明美（地域）・飯沼一美（医療）・渡辺紀子（福祉）・健やか山梨 21 普及啓発委員：秋山知子・赤澤明美・飯沼一美・渡辺紀子・黒澤東江山梨学院大学健康栄養学部学生ボランティア 9 名・山本聖子・小林綾子（事務局）



県栄養管理研修会を実施いたしました

と き	平成 29 年 11 月 11 日（土）
と ころ	山梨学院短期大学 51 号館
内 容	(1) 講演 「県の栄養事業について」 山梨県福祉保健部健康増進課 健康企画担当 主査 廣瀬真美 (2) 講演 「山梨県栄養士会の健やか山梨 21（第 2 次）推進の取り組み」 公益社団法人山梨県栄養士会 会長 田草川憲男 (3) 講演 「栄養管理ケアプロセスの意義」 講師 神奈川県立保健福祉大学学長 中村丁次先生 (4) 講演 「地域の健康課題の解決に向けた栄養ケアプロセスの活用」 講師 女子栄養大学 准教授 林芙美 先生

第 34 回県民歯科保健のつどいに参加しました

と き	平成 29 年 11 月 26 日（日）
と ころ	アイメッセ山梨
内 容	1. 料理カードによる食事診断と、診断に基づく食事バランスガイドによる食生活相談 2. 塩分量クイズによる減塩食育教室
協力者	田草川憲男（会長）・平井美樹夫（副会長）・山本聖子（事務局長）

河西瑞穂（学校）・後藤あずさ（公衆）
牧野美咲（研究）・佐野桂子（地域）
赤澤明美（地域）・石川綾美（医療）
小林めぐみ（福祉）

出前栄養相談事業

児童館での取り組み	
訪問した児童館	47 カ所
協力会員	地域活動事業部員 各 2 名ずつ
内 容	エプロンシアター、野菜のイラスト等を使用したゲームによる食育
小規模事業所への訪問栄養指導	
訪問した事業所	5 カ所
協力会員	栄養士会会員 各 2 名ずつ
内 容	事業所職員に対する栄養相談



厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

厚生大臣表彰を受賞して

公衆衛生事業部 新井 孝子

この度、栄養改善事業功労者という身にあまる賞をいただきました。管理栄養士として働いた 43 年間は、多くの方々に多くのことを学ばせていただいた月日でした。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

私が働き始めた昭和 50 年代の業務は、主に栄養素欠乏予防の支援でしたが、平成 12 年を境に、過剰も視野に入れた支援へと変わっていきました。日本人の食をめぐる状況が著しく変化し、食に関する学問も進展する中で、実践の場にいる者として“情報をどのように取り入れ、その情報を分かりやすくお伝えするにはどうしたらよいのか”悩みました。特に「何をどれくらい食べたらいいの？」という問いへの情報提供は、長年にわたり最大の課題でした。

平成 15 年、その課題への一手段として作成したツールが「塩山式手ばかり」です。きっかけは、平成 13 年、塩山市（現甲州市）食生活改善推進員と共に、イベントに参加した市民に“手に乗る野菜量”を計量体験してもらった結果にあります。「年代別に類似した野菜量が乗る」ことから“手を物差しに体格にあった食事がイメージできるのではないか”と感じたのです。そこで、「手と身長との成長割合は関連する」という仮説を立て、食生活改善推進員、健康増進課のスタッフ、保育士、小中学校の養護教諭・教師と協働し、調査を開始しました。やがて、子どもから大人まで 3595 人の手と身長データが集まり、仮説を踏まえたツール「塩山式手ばかり」ができました。このツールを使った市民の食生活支援活動は、主に食生活改善推進員と協働で行い、現在も継続していると聞いています。今回の表彰は、作成から活動まで思いを寄せた皆様と一緒にいただいたものだと感じています。

食に関する様々な情報が氾濫し、ますますエビデンスに基づいた情報提供が求められる昨今です。後進の皆様のご活躍を期待しますとともに、私も少しでもお役に立てるよう励みたいと思っています。

厚生労働大臣表彰を受賞して

忍野村役場 堀内美香子

去る 8 月 7 日にパシフィコ横浜会場において第 1 回栄養の日記念式典が開かれました。そこで厚生労働大臣賞の授賞式が行われ、出席させていただきました。

振り返れば、私がこのような栄誉ある賞を受賞できましたのも、県の田草川会長さんをはじめとする栄養士会諸先輩の方々および関係各位の皆様方の温かく優しいご指導があったからこそと心より感謝申し上げます。

この仕事を続けてきて 40 年以上になりますが、20 年以上前に、大変なアレルギーでほとんど食べるものがない状態の幼稚園児がいましたが、先日その人に会って、おかげさまで、今では色々と食べられるようになりました。幼い頃には大変お世話になりました。というお礼の言葉をいただきましたが、この仕事をやっていて一番良かったなと感じることは、「ありがとう」とか「よかったよ」などの言葉をかけてもらったり、職場に限らず、色々なところで、色々な人に相談をもちかけられたり、栄養について聞かれることも多々あり、知っている限りのことでお答えし、わからないことは後で調べてお答えするようにしています。そして、交流関係も広がり、私自身も勉強させてもらいながら過ごさせてもらっていることです。

これからも、メディア等からの情報などが多くなり、毎日が色々勉強になると思いますが、この受賞を励みに、微力ながら日々の学習を怠ることなく自分にできることを力いっぱいやって、少しでも周囲の方々のお役に立つように努力・精進していきたいと思っています。

この度は本当にありがとうございました。



山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

栄養関係功労者知事表彰を受賞して

介護老人福祉施設 コスモ 守屋喜久代

この度は、栄養関係功労者として知事表彰をいただき、身にあまる光栄と存じます。受賞に際しまして、ご推薦をいただきました中北保健所並びに山梨県栄養士会の皆様に心より感謝申し上げます。

振り返りますと、福祉施設栄養士として33年が過ぎます。成長期の子どもや高齢者の安全で楽しい食事を意識して携わって来ました。行事食、クッキング、保育所手引きやレシピ集、カルタ等の作成、栄養ケアマネジメント導入、経口維持や看取りの取り組み…いろいろと想いだします。栄養士一人の職場ですが、多くの先輩にご指導頂き、仲間や後輩、家族に助けられ支えて頂き、今日まで努めることが出来ました。皆様のお力添えのお陰さまと実感し、とても感謝しております。

高齢者の個々の食事支援は様々で、今後在宅支援も必要とされています。

微力ではありますが、これからも皆さまの期待に添えますように食支援に取り組んで参りたいと思います。また、栄養士会の活動や後輩の育成や地域貢献に邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

知事表彰を受賞して

社会福祉法人 山の都福祉会 サンコート大月 石井 静恵

この度は 栄養関係功労者として知事表彰をいただき、ありがとうございました。

ご推薦をいただきました行政関係のご担当者の方々をはじめ、栄養士会の方々、職場の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

栄養士として保育所給食に携わってきました。

保育所給食も3歳以上児からスタートし、0歳児の離乳食、アレルギー児の対応と時代とともに幅広くなってきました。栄養士は一人職場ですが、園児の笑顔と成長楽しみに栄養士の仕事が出来ました。定年まで勤められたのも、職場の皆様、回りの方々の支えがあり続けてこられたと思っております。

現在、高齢者施設に勤務しています。多くの他職種の職員がいて初めは戸惑いしましたが、これからも、職場の方々と力を合わせ高齢者の支援をしていきたいと思っています。

この彰を励みに、より一層努力してまいります。

知事表彰を受賞して

市川三郷町立三珠保育所 土橋きく江

この度は、栄養改善功労者表彰をいただき、ありがとうございました。

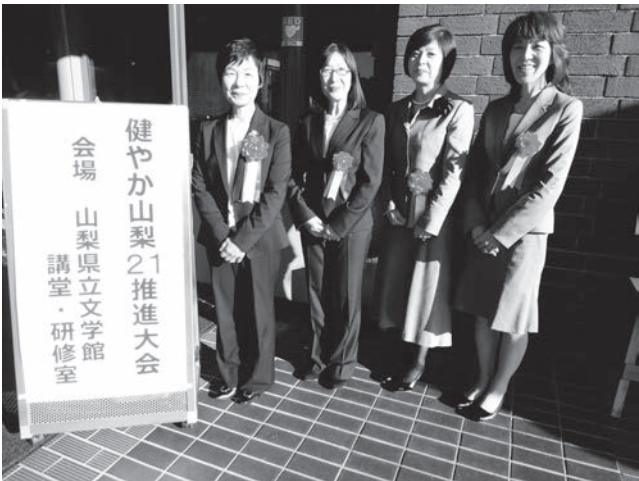
栄養士の諸先生方をはじめ、お世話になった方々に感謝申し上げます。

卒業後はじめて就職した施設では「この仕事向いてないな・・・」と思ったこともありますが、そこでの経験が今日まで栄養士として仕事を続けてこられた原動力になっているのではないかと思います。

その後縁あって保育所で働かせていただいています。焼き豆腐を見て「これも作ったの？」と聞かれるほど、給食室は何でも作れる場所なんだと思ってくれたことがうれしくなりました。

「今日はお仕事だからね！」という魔法の言葉でリフレッシュしつつこつこつと続けてきましたが、これからも世間の情報から取り残されないよう勉強しながら、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



左から、新井、土橋、石井、守屋氏



来年度に向けての抱負

丹波山村立丹波小学校 栄養教諭 澁谷 圭吾

今年度、私は産休代替として2校の栄養教諭を勤めました。それぞれの学校において児童・生徒が抱えている食の問題は様々で、個々に応じた指導や、学校に応じた指導・対応を行っていくことの大切さを現場で実感しました。本採用となる来年度は、今年度ほぼ学ぶだけで終わってしまった食に関する指導を具体的に実行していきたいと考えています。また指導すべき内容を、子どもたちに分かりやすく噛み砕いて説明することがまだまだなので、自分自身の研鑽も積み重ねていきたいと思っています。学校栄養職員ではなく、栄養教諭として配置されるので、その意義をきちんと捉え、子どもたちの将来につながっていく食に関する指導を行っていきたいです。

新年を迎えて

甲州市役所 健康増進課 健康づくり担当 中村 恵理

新年明けましておめでとうございます。

行政栄養士になり、今年は3年目を迎えるとしています。1年目は、仕事の流れを理解する年。文字通り「右も左も分からない」状態で、日々目の前の仕事をこなしていくことで精一杯でした。2年目は、「実践」の年。業務が思うようにいかず、時間がかかってしまうことや、栄養士としてこの支援で良いか不安に思うことがあり、葛藤の1年でもありました。しかし、この2年間で、多くの人と出会い、上司や先輩栄養士、周囲の方々に支えていただき、成長することができました。

今年は、3年目にステップアップしていくため、この2年間で学んだ知識、経験を活かし、人とのつながりを大切に、幅広い世代の方の健康に携わっていききたいと思います。

卒業時における質保証の強化―PROPERTIES の取組み―

山梨学院短期大学食物栄養科 塚原 順子

山梨学院短期大学は、これまで『社会に貢献しうる専門職養成』の充実を目指し、様々な教育改革に取り組んできました。昨年7月、文部科学省「大学教育再生戦略推進費大学再生加速プログラム（AP）大学接続改革推進事業」の公募で、本学の「PROPERTIES の取組み」が選定されました。

この事業は、食物栄養科・保育科のディプロマ・ポリシー（卒業までに身につけさせたい能力）を3つの要素「専門的知識 Professional Knowledge」、「専門的実践力 Professional Performance」、「総合的人間力 Total Abilities」でとらえ、「外部評価の導入による学修成果を学内・学外の両輪で評価する仕組み」、「学修成果を目に見える形で社会に提示していく仕組み」を開発・整備し、これらをいかして「学生の主体的な学びの促進や学修時間の増加等、教育活動を改善」そして、これにより「卒業時における質の保証」を強化するものです。食物栄養科栄養士コースの「外部評価」について紹介します。

食物栄養科栄養士コースでは、2つの「外部評価」があります。1つは、「栄養士実力認定試験（全国栄養士養成施設協会主催）」です。この試験は、栄養士の資質向上と質の均一化をはかり、養成施設における教育の強化を目的として行われているものです。これを専門的知識の外部評価として活用します。もう1つは専門的実践力をみる外部試験で、本学が独自に計画・実施するものです。この試験は、「喫食者に見合った献立が作成できること」、「献立に沿った調理ができること」を栄養士の最も基本の専門的実践力ととらえ、この2つの実践力がどれだけ身についているかについて、学外の管理栄養士・栄養士3名から直接評価を受けるものです。実施日は2月を予定しています。養成施設教員、研究教育事業部会員の一人として、学生が卒業時に社会に貢献できる力を確実に身のつけられるようサポートし、これまで以上に質の高い栄養士の養成を目指して努力していききたいと思います。

栄養士 魂^{だまし}と日々の挑戦

地域活動事業部 白倉ケサミ

何回目の戌年を迎えたのか曖昧にしておきます。現在現役で御活躍されている先生方が同級生でおられる事に、誇りと敬意を申し上げます。

私は卒業後、社員給食、福祉、病院、学校、マクロビオティック料理と多様な栄養士人生を過ごして来つつ、現在デイサービスの介助員をしています。意外に思うかもしれませんが、栄養士業務として接するだけでは満足できず、地域へ飛び込みました。トイレ、風呂介助、食事見守り、手芸工作、リクリエーションと多彩な一日に携わりながら生きる事を学んでいます。一生挑戦を目指し、栄養士魂を持ち続け、新しい年に乾杯です。

食事を通して温もりを

特別養護老人ホーム慶和荘 小林理恵子

私の勤務する法人では、地域密着型特養の2棟目が新設され、既存の施設内保育所等を含め、老若男女の活気が更に感じられる場所となりました。

食事の面では、給食提供だけでなく、ユニット毎に畑で収穫したお芋等を使って料理やおやつ作りを楽しむレクにも力を入れるようになっていきます。食事を通じて職員と入居者様とのコミュニケーションが深まり、また、台所からの香りや音を肌で感じてもらうことで安心して生活していただけるのではないかと考えています。作りたてのお料理を食べる入居者様はいつも以上に食が進んでいる様子で、職員の遣り甲斐にも繋がっています。これからも食を通じて、温もりを届けられる日々に努めてまいります。

新年を迎えて

昭和大学富士吉田校舎 天野ひでみ

栄養士会からの原稿依頼？「あっ年女だ」とあらためて自分の年に気づかされました。自身のこの12年は仕事に出産・子育てとただただ忙しい毎日で、そんな時、次男が生後8ヶ月で入院、治療のため2年4ヶ月という長期の入院生活となりました。同じ栄養士会会員でもある山梨大学医学部附属病院栄養科の皆様、うちの息子は病院の食事で大きく元気になりました。この場を借りてお礼申し上げます。小児科病棟では、面会は親のみで兄弟でも入口でガラス越しの対面、限られたスペースでの入院生活、息子をはじめ子供達は食事が何よりの楽しみのようでした。また、働く医療スタッフの大変さも間近で見ることができ、栄養士として親として勉強させられる時間となりました。

私は将来、医療人となる学生の寮生活を食事の面からサポートしている立場です。「朝は眠いから食べるよりも寝たい」、「魚は面倒臭いから嫌だ」、「とにかく肉、肉」と言いたいことばかり言っているのが現状です。大学生（大人）の食育は子供以上に大変かもしれません。産んでない子供達（学生）と我が息子達に食事の大切さを感じてもらえるよう日々精進して次の戌年を迎えたいです。



職域事業部のコーナー

学校健康教育事業部

学校健康教育事業部の活動

学校健康教育事業部長 ふじざくら支援学校 千頭和 功

学校健康教育部会では小中学校 特別支援学校 給食センターなどに配置され栄養士業務を担い、施設によって対象も年齢層も広範囲に及びます。業務の最終的な到達点や目標は我々栄養士すべての業種に共通する「生涯にわたって健康でいきいきした生活ができるように、食を通じて自らの健康づくりに生かせられるようにする」ということは同じであることを感じます。

児童の食の関心は極めて高く、常に生徒から給食のことを話しかけられます。それだけ給食を通じた食育の取り組みは大きな成果を期待できます。生涯の味覚や食習慣の基盤が形成される非常に重要な時期であるため、各学校の実情や状況に合わせた様々な食育に取り組んでいます。実施された取り組みがどのように対象者に影響され、行動に反映されたか、などの評価や考察を行い、PDCA サイクルによる活動の巡回によって、食育がさらに充実していくよう取り組んでいます。本部会は会員の多い部会ではありませんが繋がりを密にして業務向上につなげたいと思います。

公衆衛生事業部

公衆衛生事業部の活動

公衆衛生事業部長 中北保健福祉事務所峡北支所 藤原由紀子

公衆衛生事業部は県・保健所に勤務する管理栄養士と市町村に勤務する管理栄養士が所属しています。同じ行政栄養士であっても、業務内容等が若干違うため、日頃はそれぞれで定期的に集まって自主研修会を行っています。今年度県・保健所管理栄養士の自主研修会では、平成31年度甲府市の中核市移行による保健所設置に伴い、中北保健所

の業務移譲について他保健所間も含めて再確認しながらスムーズに引き継ぐことができるよう準備を進めているところです。また市町村管理栄養士の研修では健診時に離乳食や幼児期の食事について悩んでいる事例に携わることが多いため、昨年に引き続き乳幼児の食支援について研修を行っています。今後はJDA―DAT等両者で共有すべき事項についても研修会を開催し、慌ただしく変化していく世の中の流れに残されないよう両者で情報共有しながら研鑽していきたいと思います。

研究教育事業部

超高齢社会において 地域で栄養支援を行うために

研究教育事業部長 山梨学院大学 古閑美奈子

研究教育事業部は会員38名で、主に教育活動及び研究活動等を行っています。

関東甲信越・京浜ブロック研修会が、7月29日（土）に東京農業大学で開催され、テーマは「超高齢化社会における在宅支援を学ぶ」でした。駒沢女子大学 田中弥生教授の「栄養ケア・ステーションと地域在住者の在宅支援の実際」の講演では、入院から退院・在宅へと切れ目のない栄養支援により、摂食量増加、完全経口移行へと栄養改善がなされた事例が紹介され、今後さらに栄養ケア・ステーションの役割が重要となる、という内容でした。厚生労働省健康局健康課栄養指導室・保険局医療課 塩澤信良課長補佐の「『地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理』に関する検討について」の基調講演では、配食

の選択・活用を通じて、地域高齢者が適切に自身の栄養管理を行えるよう、新たに事業者向けのガイドラインを作成・公表し、地域高齢者の健康支援を推進するという内容でした。

地域の高齢者に対する在宅支援など、超高齢社会に求められる課題は多数あります。管理栄養士・栄養士の活動を通じて県民の方々の健康増進・食生活改善に貢献できるよう尽力したいと思います。



勤労者支援事業部

勤労者支援事業部として目指す事

勤労者支援事業部長 大柴 由紀

22名の会員がいます。県内各地に散らばっている上ほぼ全員が一人職場のため、会員同士の交流がなかなかできない状況です。

今年は新しい会員の方を迎え、心機一転！と考えていますが、なかなか主だった動きができていないのが現状です。以前は集まって研修をすることを念頭に活動をしていましたが、今後はそれぞれ仕事や家事、プライベートに忙しい時間を上手に利用して交流や自己研鑽を計れるようにするため、メール等を利用した情報交換を予定しています。

地域活動事業部

地域活動事業部の活動・研修報告

地域活動事業部長 前田 英美

1) 児童館における出前栄養相談事業は、昨年度に引き続き『なんでも食べる子、元気な子』をテーマに「塩山式手ばかり」と「子供の頃からの減塩」の2つの内容について県下36児童館で行っています。事前研修会では多数の部会員のご参加ご協力があり、子供達や保護者に向けて更に興味深く楽しく学べるように媒体数も増やし、担当17名の会員により大変好評にて残りわずかです。

2) 健康談話室での「元気っ子クラブ」事業は、毎月1回乳幼児とその保護者に向けての栄養講話と個別相談を行っています。月齢差、個人差が大きいため、質問内容も多様化しますが、正しい知識をもって即答し、母親の気持ちに添った相談ができるよう、担当者7名で工夫を凝らしています。また、新規事業として甲府市幼児教育センターでの乳幼児食事栄養相談事業が始まります。次年度も

勤労者支援事業部の特徴は職場が様々である分、食事を提供する対象の方も様々です。お互いの仕事の情報交換をするだけでも勉強になることも多く、県内で働く仲間の活躍が刺激になることもあります。

なかなか顔を合わせることができないメンバーですが、若い方の力も借りて少しでも他の事業部に負けない役割を果たしていければと思います。

栄養士会の活動になかなかご協力ができない勤労者支援事業部ではありますが、他事業部の方や支部の方との合同研修も検討させていただければありがたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

継続して行えるよう内容について検討中です。

3) 9月には群馬県にて関東甲信越ブロック研修会が行われ、高齢者の在宅介護について各県の様子を知りました。2日目には他県の部会員とのグループワークで地域部会員ならではの悩みや今後の自分を考える大変有意義な研修となりました。

4) 高齢者の在宅訪問栄養指導事業に関する各種研修会では、多職種連携の中での栄養士の必要性を伝えていますが、なかなか業務に結びつかないのが現状です。部会員1人ひとりのスキルアップと多職種との連携を深めていく事で業務が広がると考えられます。部会員の皆様のご協力を引き続きお願い致します。

5) 栄養ケアプロセス、特定保健指導等、他にも私たちが身に着けなければならない最新の知識や技術が沢山あります。出来る限り研修会に参加し、時代のニーズに対応出来る地域活動事業部でありたいと願います。

医 療 事 業 部

医療事業部 29 年度スローガン
病院から在宅までシームレスな
栄養管理・栄養指導を目指そう

医療事業部長 山梨大学医学部附属病院 小林 貴子

医療事業部では、年度初め5月26日には「低栄養の栄養管理」「急性期の栄養管理：血糖の管理」についての研修会を開催し、多くの方に参加していただきました。

また、11月12日の世界糖尿病デーのイベントには、栄養相談の協力を行いました。

福 祉 事 業 部

今年度の活動報告

福祉事業部長（高齢・障害）特別養護老人ホーム 花菱荘 川窪真由美

今年度、福祉事業部では、多職種で取り組むことができる「薬に頼らない、自然な排便コントロールの重要性」また、食事が減少している利用者様に対しADL・QOLの向上を目指すための栄養補助食品使用の方法を研修しました。

今年度の活動報告

福祉事業部（児童） 境川保育園 風間 智恵

平成30年から施行予定の「新保育所保育指針」は、食育推進の捉え方が示され、主な内容として、食育の環境の整備、多様な職種との連携で子どもの食の充実を計り、食に関する取り組みを進めることを強調されています。新指針において専門性を生かし多職種と連携していく為、6月に名古屋短期大学教授 小川雄二先生を講師に「新保育所保育指針に沿った食育」について学び、11月に、保育協議会との合同研修会を開催し、東洋大学非常勤講師 太田百合子先生を講師に「乳幼児期の食支援と食育の進め方」

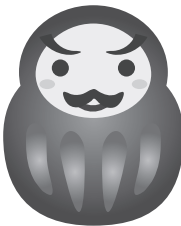
10月には、認知症の方への食事支援をミールラウンドから得た、実際の方法や、栄養ケア・マネジメントの着眼点などを詳しく説明していただきました。平成30年度は、医療、介護報酬が改定になります。それに向けて、介護の現場において、栄養士が最も必要とされていることもわかりました。各施設では、ひとり栄養士が多い中、研修会を通じて、会員同士が協力していく必要性を強く感じました。今年は、認知症スタンプラリーにも参加し、多職種で対応していくことが大切だと感じています。

～多職種との連携～について学びました。

また、平成23年に改定した「保育所給食事務の手引き2011」を更に見直し、給食業務や食育に生かせるよう今年度完成を目指し作成作業を進めています。

更に、復興庁による「新しい東北」先導モデル事業の、「ほっこり・ふれあい食事プロジェクト」に大野山保育園が参加協力し、地域の高齢者を招いて行っている園行事【おざら作り】で地域の高齢者と交流を深めました。

これからも、専門性を生かした食育を多職種と連携しながら進め、子どもの健やかな成長を支えていきたいと思ひます。





「栄養ケアプロセスの意義」～栄養士に求められる課題～

笛吹市役所 国民健康保険課 山田 祐美子

1. 栄養ケアプロセスの経緯

・栄養管理の必要性

新たな栄養問題として「栄養障害の二重負荷（Double Burden Malnutrition）」、同じ国・地域・家庭・個人に過剰栄養と低栄養が混在している現状があり、栄養問題が多様化・複雑化・個別化している。

・栄養管理の標準化

栄養士が一人の対象者に十人十色の栄養管理をしている現状があるが、同じ結論、評価が必要である。栄養管理は対象者のために行うのであり、栄養士のために行うのではない。対象者にも理解されるものでなければならない。栄養管理の知識や技術、用語、記録の標準化が求められる。

栄養管理は、統一された言語や概念、方法がなく、混乱が生じていた。このような状況から、アメリカ栄養士会は「栄養ケアプロセス」という栄養管理の手順を示した。

2005年シカゴで行われた国際会議で、国際基準として広めることが決定された。

・「栄養ケアプロセス（Nutrition Care Process：NCP）」とは

- ①栄養アセスメント（栄養状態の評価）
- ②栄養診断（栄養状態の判定）
- ③栄養介入（計画と実施）
- ④栄養モニタリングと評価

の4つのプロセスで構成される。

この方法で新しくできたのが、②栄養診断である。

2. 栄養診断

・栄養診断とは

栄養アセスメントを基に栄養の介入により解決あるいは改善すべき特異的な課題を明確化して、標準的な方法で記録することである。栄養アセスメントは各種のデータを個別に評価するのに対して、栄養診断は栄養アセスメントの個別の評価を基に総合的評価、判定する。

疾病診断と異なり、栄養領域に限られた状態を診断する。

・栄養診断の3つの領域と内容

- ①N I（Nutrition Intake：摂取量）

食物あるいは栄養素の摂取量が真の必要量や推定必要量と比較し、過剰か不足かについて

- ②N C（Nutrition Clinical：臨床栄養）

疾患や病態、身体的状況に関わる栄養問題について

- ③N B（Nutrition Behavioral/environmental：行動と生活環境）

知識、態度、信念、物理的環境、食物の入手や食の安全に関連して認識される栄養問題について

3つの領域において70種類の栄養診断が用意されている。

・栄養診断の方法

P E S と呼ばれる文章表現を活用し、簡潔な一文で記載する。

日本語では、結論が最後になる「S E P」の順となる。

- ③症状／徴候（Sign/Symptoms）の根拠に基づき、
- ②要因（Etiology）が原因となった（関係した）、
- ①問題や栄養診断の表示（Problem or Nutrition Diagnosis Label）と栄養診断できる。

3. 中村丁次先生からのメッセージ

傷病者の高齢化、医療・医学の進歩により栄養管理は複雑化、多様化、高度化し始めている。5年前の話はするな、10年前の話は嘘になる。私たちの知識はどうでしょうか？

栄養管理・指導方法を常に振り返り独りよがりにならず、科学的エビデンスに基づいているかを確かめながら改善していく必要がある。この努力こそが、専門職としての責務であり、誇りでもある。

平成29年度栄養管理研修会「栄養ケアプロセスの意義」神奈川県立保健福祉大学 中村丁次先生の講演より

栄養ケアプロセスの必要性について ～平成29年度栄養管理研修会における林芙美先生の講演を受けて～

勤労者支援事業部 天野江津子

女子栄養大学食生体学研究室林芙美先生を講師に迎え、地域の健康課題の解決に向けて栄養ケアプロセスをどう活用するか、乳幼児健診での事例を用いて栄養診断（PEG 報告書）作成（演習）の研修を行った。また、NCP はこれまで個人での活用が多いが、実際には集団にも活用が可能となっており、先行的に地域診断に NCP の考え方を取り入れた埼玉県熊谷保健所の事例を紹介して頂いた。

栄養ケアプロセスの習得には、沢山の事例に触れ、沢山の栄養診断を書く事が必要なため、今回は事例検討を実施し、学習目標を「①事例をもとに、栄養管理のアセスメントデータを分析し、問題となる徴候・症状やその原因を明らかにすることができる。②事例に合わせた適切な栄養診断用語（70 の栄養診断より）を選択し、P E S 報告書をまとめることができる。③P E S 報告書と関連付けて、栄養介入計画を立案することができる。④栄養ケアプロセスを利用した地域診断のあり方について理解する。」とした。

栄養診断（PEG）報告書は、「S（徴候／症状）の根拠に基づき、E（病因・原因／危険因子）が原因となった（関係した）、P（徴候／症状）と栄養診断できる」と簡潔な一文で記載する。適切な栄養診断（PEG）報告書かどうかの確認方法は、「管理栄養士は、その問題を解決することができるか？原因は筋が通っているか？栄養アセスメントのデータと一致しているか？介入計画は合理的か？記載された徴候／症状に基づいて、患者・クライアントをモニタリングできるか？」栄養介入計画は、P（徴候／症状）の介入計画とP E S 報告内容をリンクさせて記載することがポイント。

栄養モニタリングと評価を行い、修正しながらマネジメントのサイクルを回していく。

終わりに、地域診断について、集団として課題、情報をもとに地域の課題をとらえ介入計画にいかしていくにはどのように活用可能かの事例を紹介。実態を踏まえ単に健康課題だけでなくその背景には何があるのかあらゆる面から情報を集め、それを踏まえアセスメントを実施。地域の健康課題の改善のために食生活の実態と健康課題をつなげて、現時点で得られる情報から栄養診断、栄養介入（モニタリング計画・栄養療法計画・栄養教育計画）、集団の改善が出来ているかモニタリングと評価を行い、修正しサイクルを回していく事で集団に活用可能。

在宅高齢者の栄養食支援が大切です ～訪問栄養食事指導のニーズが高まっています～

栄養ケア検討委員会委員長 守屋 喜久代

在宅高齢者のうち、低栄養や疾患に応じた栄養食事支援が必要な方、摂食嚥下機能障害の方とご家族等に対して、適切な栄養食事支援が求められています。

「在宅療養者の訪問食事指導の実際と課題（第2報）」によりますと、在宅療養者での栄養に問題を抱えている方や介護者が58%、在宅医療に関わるスタッフで81%と高い数値です。抱えている食や栄養の問題点は多岐に渡っています。

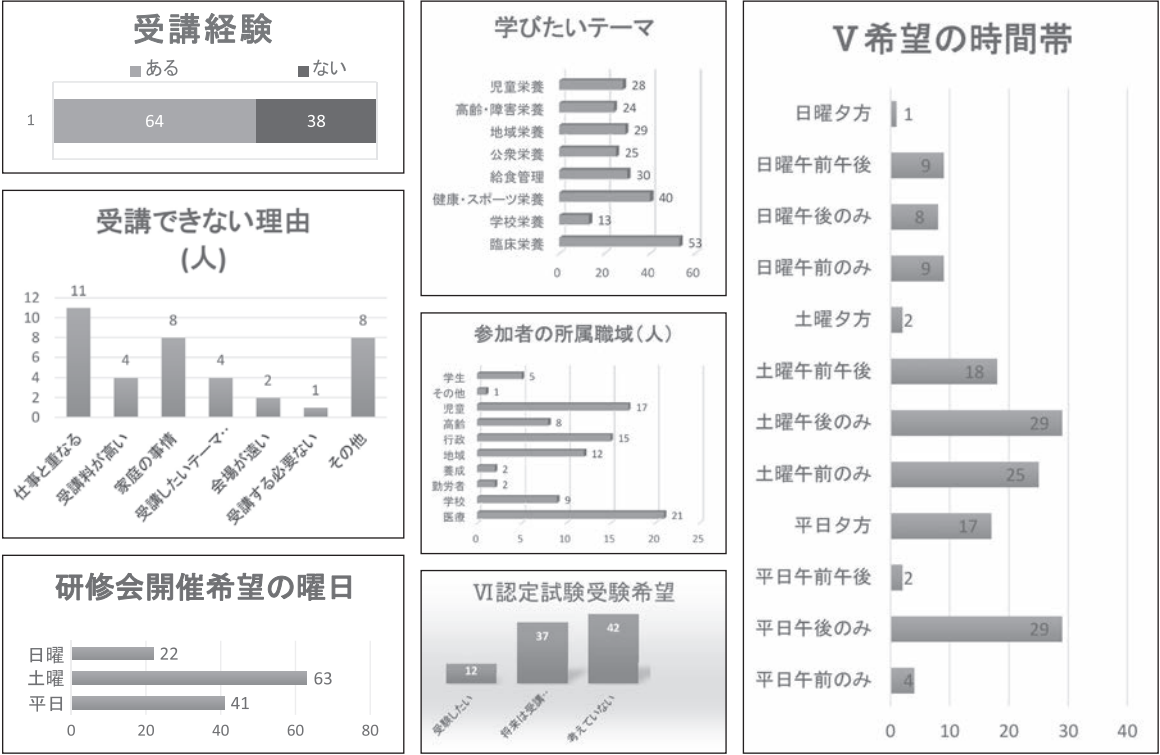
そこで私達栄養士が、在宅医療チームの一員として、対象者の栄養状態や生活状況の多様性に配慮して望ましい支援を行なう必要があります。

そこで今年度、栄養ケア検討委員が中心となり“山梨県在宅高齢者の栄養状態を良くし隊”を結成し、検討会や研修会を行なっています。

今後、2月3日（土）、3月17日（土）に研修会を計画しています。多くの方にご参加いただき、隊員として一緒に支援を考えていきましょう。

アンケート及び記述式の御協力を頂きありがとうございました。

（ ）内の「ある・ない」は、平成 26 年度以降の生涯教育研修会の受講の有無、及び所属職域



V希望の時間帯

日曜夕方

日曜午前午後

日曜午後のみ

日曜午前のみ

土曜夕方

土曜午前午後

土曜午後のみ

土曜午前のみ

平日夕方

平日午前午後

平日午後のみ

平日午前のみ

1

9

8

9

2

18

29

25

17

2

29

4

I 平成 26 年度以降 生涯教育研修会を受講したことがない理由
いつ開催しているかよく分からない（ない・児童）
情報がない（ない・学校）

Ⅲ 受講したいテーマ

栄養士の質を高められる研修だったらなんでも。様々な分野に生かせるもの。（ない・児童）
乳幼児についての栄養（ある・児童）
保育園における園児の栄養管理、食事摂取基準の活用方法（ある・児童）
回数は少なくても良いので、“受けて良かった！ためになった！”と思える講師を呼んで欲しい。（ある・地域）
具体的な統計データの扱い方や演習を少し時間にゆとりを持って学びたい。（ある・行政）
運動と栄養の関連 健康格差縮小へのアプローチ(ある・行政)
低栄養対象者への対応、えん下障害への対応（ない・高齢・障害）
生活習慣病等、高次機能障害について（ない・高齢・障害）
学校で学べない経験に基づく話し（ある・行政）
特定保健指導、生活習慣病（ある・地域）
乳幼児期の食育について、離乳食の進め方について（ある・ー）
フレイル（ない・医療）
科学的根拠に基づいた最新の栄養学（ある・学校）
受講したいテーマがあまりないので、都心で開催している栄養関連の研修会などに参加している。受講したいテーマは、りは栄養、認知症関連、経口摂取・腸管栄養・静脈栄養の関連（何回かはある・医療）
高齢者の栄養（経口・経管）（ある・医療）

Ⅶ 生涯教育研修会に対してのご意見・ご要望等

業務の中でなかなか連続して出席出来ない。（ある・医療）
基本研修よりも実務研修のほうが最新の情報を得られて有意義に感じる。
基本研修は不要とまでは思わないが、基本研修がもう少し実際の内容に近づくとおもしろいのではないかと思う。（ある・養成）
「専門領域分野別の認定制度」とは具体的にどのような試験なのか詳しく知りたい。（学生）
いろいろなところが開催する研修会が多く、どの研修会を受けるか、優先順位をつけると生涯学習の順位は低くなる。（ある・地域）
受講の必要性は承知しているけど 休日を何日も出るのは負担と感じてしまう。家庭や自身の事を優先させていただきます。（ある・行政）
3ヶ月に一度程度（年間4回）くらいの改正だとすべて参加できる可能性があります。（ある・行政）
研修会の力を持って栄養士が働く場において、栄養士の重要性・必要性などが高まると、スキルアップなど栄養士も向上心を持って取り組めると思う。栄養診断用語なども1人で使っていても伝言にならない。（ある・医療）
資料が古いときがある。（ある・地域）
糖尿病予備軍患者への指導（ない・学校）
認定試験を受けるにあたって、生涯教育の参加が必須となっているが、外部の研修を単位に置き換えることはなされていない。受けたいテーマがないのに、栄養士会の研修のみ単位となるのはどうかと思う。（何回かはある・医療）

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

公益社団法人 山梨県栄養士会 役職員一同

理 <
--

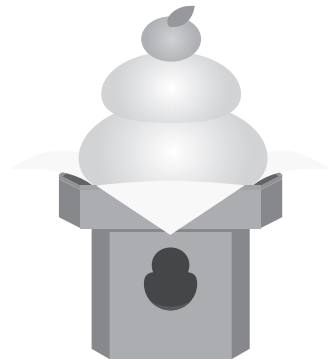
☆御礼：研究教育事業部の青木慎悟会員から県栄養士会に A3 対応のスキャナーを御寄附いただきました。

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

平成 30 年 元旦
公益社団法人 山梨県栄養士会 賛助会員（順不同）平成 30 年 1 月 1 日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	飯 野 知 彦	食器、厨房機器
大 塚 製 薬 甲 府 出 張 所	055-276-8581	藤 井 一 徳	ポカリスエット、ネイチャーメート
オ ギ ノ 食 糧 (株)	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
(株) オ ブ プ リ ン テ イ ン グ	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	竹 井 弘 登	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	赤 池 貞 治	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、 修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	055-274-8989	輿 石 修	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
湊 興 (株)	055-226-3742	小 野 健 一	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	03-6225-2503	山 田 悟 志	鰹の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	柳 本 剛	健康科学ヤクルト
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	飯 塚 達 哉	メラミン、ポリプロ食器
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	鶴 尾 秀 二	医療用食品の製造、販売
東 洋 羽 毛 首 都 圏 販 売 株 式 会 社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	片 野 博 之	羽毛布団
東京サラヤ(株)東京営業所 八 王 子 出 張 所	042-620-0321	松 田 康 志	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	崔 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株式会社 岩崎 松本営業所	0263-39-0501	荻 原 哲 也	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	03-3793-3939	越 智 弘 美	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」 の開発販売
(株) オ オ キ	055-273-6644	功 刀 公 人	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機 器販売
株 式 会 社 明 治 関 東 支 社	042-540-7322	堀 田 望	栄養食品、乳製品製造、販売
長谷川化学工業株式会社	047-482-1001	本 田 光 夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
株 式 会 社 せ ん だ い	055-262-1170	伊 藤 英 文	納豆の製造販売

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
カゴメ株式会社 東京支社	03-6667-1771	浜 井 純 子	飲料、調味料・パスタソースなどの製造・販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	小田切 誠	寒天及び介護食用寒天製品・家庭用食料品（デ ザート等）製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類な どの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの 製造販売宅配
株 式 会 社 コ ー ゲ ヅ	055-260-7311 080-3472-9586	山 梨 営 業 所 加 藤 所 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小 沢 浩 二	食品・家庭用品等の販売
味の素冷凍食品株式会社	03-5798-8653	佐 藤	冷凍食品の研究開発・製造・販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	坂 元 誠 治	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サ ン ワ フ ー ズ 株 式 会 社	0550-83-1122	齊 藤 猛	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
株式会社インフィニバリュー	070-6988-0025	玉 川 眞奈美	メニュー、新商品開発及び販路拡大・アレルギー 対応食、食材のプロモーション
有限会社 糧とく東京営業所	03-5246-4203	細 川 直 樹	米（給食用）の精米・販売、厨房・医療機器の販売、 業務用パン（常温・冷凍）の卸売等
味の素(株)東京支社 甲 府 出 張 所	055-268-1255	岡 山 幹 信	家庭用・外食用の調味料、加工食品の販売
ライオンハイジーン株式会社	03-5819-6667	桑 原 千 明	業務用洗剤、除菌剤の製造販売 総合衛生管理提案・診断・講習の実施
S O M P O リ ス ケ ア マ ネ ジ メ ン ト (株)	03-5209-8975	井 澤 美 範	特定保健指導事業
日清オイリオグループ株式会社	03-3206-5298	佐 野 淳 也	食用油、病院・高齢者施設向け食品の販売
(株)ふ久助フードサービス	055-222-1357	深 澤 幹 明	福祉施設等における給食事業





事務局からのご案内



1. 会費納入について

- ◎毎年の会費の納入は自動引落でお願いします。(毎年4月10日に引落します)
自動引落し手続きは、山梨中央銀行本・支店、又はゆうちょ銀行で自動払込利用申込みを行って下さい。
手続きには、通帳とはんこが必要です。
山梨中央銀行の振替指定口座またはゆうちょ銀行の払込先は、下記のとおりです。

☆山梨中央銀行の振替指定口座

山梨中央銀行甲府駅前支店 (普通) 287296
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 108 円

☆ゆうちょ銀行の払込先口座

口座 10890 - 11752671
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 25 円

◎平成30年度 年会費の納入のお願い

自動引落の手続きをとられていない会員は、平成30年3月31日(土)までに納入をお願いします。
納入先は上記、山梨中央銀行又は、ゆうちょ銀行の払込先口座をお願いします。



山梨中央銀行 (ATM) (窓口扱)

山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	108 円	216 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	216 円	324 円

ゆうちょ銀行

通帳から振替 (窓口扱)	144 円
通帳から振替 (ATM扱)	無 料
現金を窓口で払込	540 円

会 費

日本栄養士会費 6,500 円
山梨県栄養士会費 7,500 円
会費を上記口座にお願いします。

連盟会費 2,000 円
連盟口座にお願いします。

(※会費の領収書は通帳記載、コンビニ払込受領証等により代えさせて頂いておりますが、必要な場合は、事務局までご連絡下さい。)

3. 会員登録事項の変更は早めにご連絡を!!

- ・住所が変わった時・・・
- ・勤務先が変わった時・・・
- ・結婚等で姓が変わった時・・・
- ・県外に引っ越しの時 → <転出届>
- ・退会の時 → <退会届>

☆これらの変更があった時は、必ず、県栄養士会へ連絡をいただくか、「会員WEBサービス」にてご自身で会員データの変更をお願いいたします! 更新方法は、本誌P7「栄養士のWEBサービスを利用して、研修会の申込みができます!!」をご覧ください。

2. 会員証を紛失したら?

紛失の場合は、有料(1,000円)にて再発行いたします。
山梨県栄養士会事務局にお問い合わせ下さい。



編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします!!

JDA-DAT(日本栄養士会災害支援チーム)や在宅訪問栄養指導、特定保健指導と管理栄養士・栄養士に注目が集まっています。その注目が失望にならないよう益々、自己研鑽が必要です。栄養士の開催する研修会には積極的に参加し、充実した1年にしましょう。

(編集委員一同)

4. 事務局の年末・年始について

平成29年12月28日(木)~平成30年1月4日(木)までお休みとなります。

◎編集委員

田草川憲男、秋山 知子、大神田志保
青木 雅子、塚原 順子、天野江津子
丸山 通子、細井 洋子、望月麻里子



栄養やまなしNo.106 平成30年1月1日
発行所 公益社団法人山梨県栄養士会
〒400-0805 甲府市酒折1丁目1-11 日星ビル4階
TEL/FAX 055-222-8593
ホームページアドレス <http://www.eiyouyamanashi.com/>
メールアドレス yamaei@sky.plala.or.jp
印刷所 (株)オズプリンティング

◆山梨県栄養士会 HP の会員専用ページへの入り方 パスワード:yamaei2013